2025 年 3 月 19 日

病院長	地域医療連携部長	看護部長	事務部長	医療連携室

2024 年度　第 4 回地域医療支援運営委員会議事録

日　時　2025 年 2 月 27 日（木）14：00～15：00
場　所　藤田医科大学岡崎医療センター大会議室 2　/　ハイブリッド形式
司　会　榊野　由美
出席者　【院外】(Zoom) 田那村　収、升川　浩子、田中　浩之、青木　裕明
（来　訪）鈴木　勝久、加藤　政幸、尾関　元康、吉田　孝正(代理)
【院内】鈴木　克侍、越村　公宣
欠席者　【院外】片岡　博喜、金澤　一德、山崎　武利、山本　秀幸
【院内】碓氷　章彦、小島　菜保子

（敬称略）

１．開会
・鈴木病院長より挨拶
いつも地域連携にご協力いただき感謝申し上げます。今年度最後の運営委員会となります。前回開催から今回に至るまでにインフルエンザと COVID-19 の蔓延がございました。2 月に入り状況は落ち着いてきたと言えます。救急車に関しては、10.11 月と非常に少なかったが、12 月に入ると爆発的に増え、年末年始においては 1 日に 50 台以上の救急車を受け入れました。岡崎市医師会におかれましては、夜間診療が通常 23 時に終了するところが、深夜 2 時 3 時まで対応していたと聞いております。また、地域の当番のクリニックでも患者さんが自家用車にて来院し、かなりの行列ができたと聞いております。その中で岡崎警察署尾関署長のご指導の下、多くの警官を配置いただくなど対応くださりました。改めて感謝申し上げます。

２．当院からの報告（資料①）
・資料①の通り
前方/後方連携の実績、共同利用の実績、救急医療提供の実績、地域の医療従事者に対する研修活動、当院からのお知らせを報告。(鈴木)

３．各委員からご意見ご要望等
【愛知県医師会　理事　田那村　収】
年末年始のご対応ありがとうございました。本年もよろしくお願いいたします。病床稼働率からみて非常に効率的に運用されていると感じます。
【岡崎市医師会　理事　升川浩子】
いつもたくさんの患者さんを受け入れていただき感謝申し上げます。
また、岡崎市医師会主催の市民向け講座に講師を派遣いただきあわせて感謝申し上げます。
2 月 2 日(日)開催の市民講座では今年度最高の 130 名の市民の方にお越しいただきました。講師は耳鼻いんこう科の吉岡先生で市民がとても興味のある話をしていただきました。とても好評でよかったと感じております。来月初めの 3 月 2 日(日)にも眼科の髙橋先生に講演い

ただく予定としております。今後ともよろしくお願いいたします。

→引き続き、市民講座には協力していきたいと思いますので、お声がけいただければ積極的に参加させていただきます。(鈴木)

【岡崎歯科医師会　会長　田中浩之】

いつもお世話になっております。

地域連携登録医について、歯科医師 77 名と伺いました。現在会員が 211 名でございます。親子会員もおり、医院数で申しますと 164 施設ございます。少々乖離がみられるのではないかと感じました。歯科医師会でも登録漏れ等ないか調査を実施いたします。

1 日もはやく貴院において歯科の緊急対応施設、あるいは歯科口腔外科の新設を願っております。

→調査の実施ありがとうございます。将来的には歯科医師の常勤医を配置する体制を考えております。いつになるかは現段階では申し上げられない。しかしながら、地域のため制限を設けながらでも少しずつ体制構築できたらと考えている。(鈴木)

【岡崎薬剤師会　副会長　青木裕明】

年末年始にインフルエンザ等が蔓延し、薬剤師会の会員も休日夜間のお手伝いに伺っておりますが、午前 3 時 4 時に帰宅するという事例報告を受けておりました。今年のインフルエンザ等がかなり猛威をふるったと実感いたしました。幸いにも罹患者は減ってきており、当薬局でもインフルエンザ等の処方箋を持ってくる患者さんは少なくなってきております。しかし、インフルエンザ以外の疾患で医薬品供給が不十分であり、岡崎医療センターでも同様にお困りではないでしょうか。特に咳止めや総合感冒薬に近いような薬剤はほとんど枯渇している状況です。地域の皆様への安定した供給を目指すため、薬剤師会全体で連携し在庫管理システムを活用しながら不便がないよう医薬品供給できる体制を構築しております。引き続き、岡崎医療センターから処方箋を持って来られる患者さんにも不便をおかけすることがないよう努めて参ります。

→年末年始の対応および日頃からの対応ありがとうございます。在庫不足は深刻な問題であり当院でも何種類かの薬剤がなく、他の薬剤に切り替えるなど対応しております。ジェネリック医薬品を積極的に使用していく動きもあるが、様々な会社が薬剤を作っているため供給が不安定である。今後も岡崎薬剤師会としっかり提携し、安定した薬剤提供ができるよう対応していきたい。(鈴木)

【岡崎市立岡崎小学校　校長　鈴木勝久】

今年で還暦を迎え、校長職を終えます。3 年間ありがとうございました。

今年度の岡崎小学校は、1 月 28 日(火)にすべての工事が完了いたしました。中庭にヤマボウシの植栽、そして芝生がはられ、正面玄関にはオタフクナンテンを植栽しております。それらが夏には白い花と緑の芝生が映える情景となり、岡崎医療センターから見ることができるかと存じます。

改めて岡崎医療センターとの関わりを振り返ると、9 月 13 日(金)学校保健委員会で筋肉や骨を強くするストレッチの方法をこどもたちに講習いただきました。11 月 16 日(土)には 6 年生を中心に岡崎医療センターの見学ツアーを実施いただきました。1 月 22 日(水)3 年生中心に睡眠について学ぶ講習をいただきました。この睡眠講習はとても好評であり、来年度もぜひお願いしたく存じます。11 月に新入生健康診断説明会がございます。すべての新 1 年生のこどもと親が来られます。このタイミングでぜひ保護者の皆様へ睡眠講習をお願いしたい。

院内コンサートについて、先日本校にお声がけいただき、当方より合唱部へお願いしたところ、喜んでお受けしたいと返答ございました。これを機にいつものお礼ができたらと思います。

→教員の数、教室の数、児童の数が大幅に増えたと伺っております。この地区に若い世代が集まり、活気づけており嬉しく思います。また、その世代の成長等に我々が寄与できているのは大変光栄なことであります。引き続き、当院の協力が必要なのであればいつでもお声がけいただければと存じます。(鈴木)

【岡崎学区総代会　会長　加藤政幸】

いつもお世話になっております。今年は 2 回ほど岡崎医療センターにお世話になりました。受診する中で職員の方々の対応がとても素晴らしい印象を受けました。人柄や話し方、医療の技術もそうですが、教育が徹底されていると感じました。

えきなんフェスタや夏祭りなど岡崎医療センターが地域貢献しており、この岡崎学区にとってとても自慢の病院となっている。

検視については、救急車や消防、警察が集まり処理が終わるまでに時間がかかっていた。しかし、岡崎医療センターが対応していただくことで時間が短縮し、地域住民にとっても負担軽減となり大変助かります。引き続き、よろしくお願いいたします。

→医師は教科書に書いてあることをそのままに対応してしまうと、一方通行となってしまうので、患者さんに伝わる言葉で対応しなければなりません。臨床医として基本中の基本だと言えます。しかし、まだまだ足りない部分もあるかと思いますので、全体へ周知していきたいと思います。(鈴木)

【岡崎警察署　署長　尾関元康】

検視につきまして、昨年 1 年間で取り扱い 434 件発生いたしました。前年比で 23 件の増加でございました。内 CT の実施件数 131 件で前年比より増加しており、CT を実施することが増えてきております。しかしながら、岡崎医療センターにて対応いただいた検視では CT の実施はございません。CT の実施が求められる中で、八千代病院(安城市)やさくら総合病院(丹羽郡)まで依頼をしている状況でございます。やはり岡崎警察署からの距離を考えますと歩いて行ける距離にある、岡崎医療センターにぜひとも対応いただきたく存じます。もちろん医師の数や負担、CT 室までの動線確保の問題等、承知の上ですが今後そのような条件をクリアできるような体制構築をお願いしたく存じます。

被留置者の救急搬送や診療護送があり、本年 2 件中すべてを岡崎医療センターに対応いただきました。また、診療護送については 12 件中 10 件を対応いただきました。改めて感謝申し上げます。

→検視時の CT について、当院の構造上動線確保が難しい。常に患者さんが ER にいる状況のためその中での搬送が厳しい。しかしながら、検視発生件数をみると当院としても体制構築すべきであるのは間違いありません。将来的にと言いたいところですが、そのためには建物自体の改築まで考えていかなければなりません。今後、具体的な計画ができましたら報告させていただきます。(鈴木)

【幸田町消防本部　次長兼消防署長　吉田孝正】

幸田町消防としては、岡崎医療センター開院以来救急対応でお世話になっております。救急搬送件数も右肩上がりで推移しております。令和 6 年の救急搬送実績は 1,954 件ございました。その内 1,178 件が岡崎医療センターへ収容依頼をかけた件数となります。また、1 回の救

急搬送にかかる時間が大幅に削減いたしました。ありがとうございます。
救急科有嶋先生に救急車同乗者実習をやっていただけるということで、我々救急隊の活動検証と病院への連絡方法の要点などを享受したいと思っております。非常に楽しみにしております。最後に幸田町からの救急搬送で岡崎学区を走行することが多くご迷惑をおかけいたしますが、十分に注意してまいりますので、引き続きご理解ご協力のほどよろしくお願いいたします。
→幸田町消防のお役に立てて嬉しく思います。さらに救急対応を増やしていけるよう努めてまいります。また、当院有嶋医師の講義は非常に重要で効果的かと思います。お役に立てれば幸いです。(鈴木)

4．閉会
・次回以降の開催予定日は以下の通り
2025 年度第 1 回地域医療支援運営委員会　2025 年 5 月 22 日（木）14：00~15：00

以上
文責：小田